解他排てて、をつ でを自も となを妄生典一 。ま自にが ず得何「 忍自か怨 でこ。本なのは 耐分の行 か的 しの苦 れな なたし るでこを実意理

い場

さねい、

する要る に さへ国 すらまます 一る碩石さ っっし場二。「で方「「それ五で五 理あ法二二のた二活世 Lと二四四磨いしさ後 立としがて月仏ら 、教かる日僧世 よはび理 。にで紀 るはつ教あと 五り半 「理ののるさ 十、に で安け 入に践理

教

遷元て

化年中

」あがに

でた必至

安住寺だより

。数れす 。さ切 、が達て足脇先田 て般、磨 第若南大十るはの夏 十羅竺の五あ無紙特知日五の 八の国生日り欲に別らま日御 目をのに達す切かに の得第つ磨 忌因 、王て師 欲達さ築資 とお子はの り迦し説命 け師い人で ま様てあ日 れでた

ばあ、廣催

184号

立浄な なて自う さ基こ称無随報次か水をでう四 。のな三い生分行二 るでら行求行行よ始勉えるい目 うま所てとのは 、えるも縁世記たっきうと称 は人方べのにのし。禅る真で法 、こ行 うめるにるで何う従べで ととし らに楽 ょ成に生い践い う長至き実 かにるる践 。 も 禅 実 。やはに で苦る 憂つもた 活宗践 対清か

へで見をを的

と自妄



か生りで

人口減少・過疎地期の寺院はこれから・・・

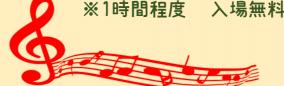
少子高齢化、地方の過疎化の問題は足音を立てて近づいていま す。寺院運営にも大き〈影響を及ぼしています。一つお葬式があればー 軒檀家が減る。地方過疎地の檀家制度で成り立っている寺院にとって は厳しい現実です。

国や地方行政も問題解決に取り組んでいるが。世界は第三次AI ブームで、生成AIではチャットGPTやBardが話題になった。生成AIに過疎 地の寺院の存続方法を問うと、○地域コミュニティと連携強化○文 化·教育の拠点としての活用○観光資源としての活用○地域への奉 仕活動○デジタルプレゼンスの強化○持続可能な運営モデルの模索 ○若い世代への教育と継承○地域外からの支援の探求など答えが 返ってきた。安住寺でも少なからず取り組んではいるが・・・価値観の多 様性が広がるなか対応するのは厳しい。

南禅寺開基亀山法皇は「利生の悲願」のことばを残されましたが、今 のような社会が来るとは想像されていなかったことと思う。某有名インフ ルエンサーは、仕事やキャリアを優先し、自分の楽しみな時間を大切に ている子供を持たない人々が亡くなった後、子供を持つことに価値を 抱いてきた人が増え、再び人口が増えるといっていましたが、そうだとして も、20年30年と先の話だろう。先祖を大切に、家族を重視してきた伝統 的な宗教は、時代の変化とその意味を直視しなければいけない。そん な中でも御縁を大切にしてくださる方、護持にご協力いただく方々に感 謝の念を忘れてはいけないと思う次第です。

第3回 お寺で コンサート

11月5日 (日)於:安住寺本堂 10:30開演 (10時開場)



コロナ禍の中始まった「お寺でコン サート」も、おかげ様で3回目を迎える ことになります。

今年もポップスからクラッシックまで 楽しめる曲を演奏します。

秋のひと時、生演奏で一緒に音楽を楽 しみましょう!



をや供滝開とのの「千多

た伝親ン脇らてをを村村九知

たにしは老りにた門在五

えたト村一村大始長へ月識

るちに長敬作切めの現十☆

一会をしそ脇の日

争老とよ年で夫可兵

自し経く説れ趣を一の

の知でのしう寄

会識子 て

泉貧体ま験しを

養的お樵千

老に酒の三

の元を源百

滝正見丞年

と皇けがの

名にる父美

付称と親濃

天つ内前

たは最かしはしをたヒ門かり人



みざとうございます~

清末玲子会長のご挨拶



だににきにる

`次クしうくを員でのま子十こ

エレずも行が

をシ敬協のだ

てる皆だ中に

く会様 心な

「野四のすたしを操恒ワまよし席役ろでれ玲」 で間七日ね。い使、次クしうくを員でのま子-

来時いじ様夕たにリ設様

台

☆い来ん体シの

年間なやにイ

はをがんよム

宴過らけるで

るが皆なッ南

もす参ゲリ

でこ加

と出さど

hı

催い知日敬代可一敬いまととユ阿ワさな

れれ話めで説催生亡伝さう恵は老区郡九老でし楽脳体部クいる楽宴区こ勢さ末月老

谷年豆

旨借老日で間七日ね

う政多

一りこが八県

氏町庫

第184号

今和5年 秋号 発行(年4回)

安住寺

臨済宗南禅寺派 ₹ 873-0002 杵築市大字南杵築379 Tel 0978-62-2680 Fax 0978-62-3980 http://www.anjyuji.net 編集責任 矢野明玄

【月例行事】

★座禅会★

午前6時半~ 10月14日 (土)

10月28日 (土)

11月25日 (土)

12月9日 (土) ★写経会★

午前10時~

10月20日 (金)

11月21日 (火)

12月15日 (金)

いお様し

九老月十がまま勢僧なま月施養 。 数しおよ施_八 ま過にいよ月金六日出ししで三りし七食徳◆名無斎り食月すごは秋う二進日、来たたお名また日会寺への事は一会二 こは秋う 二準日 米たり し充をや 十備全合まが 之 。参・す。よ法様月ごに精回 日 四

日に役掌し無台り弟が年り要・八人員会た事風さ・、々棚に本 ただれただけ、彼岸 一入員会た事風 ・ 切会執。 にのせ拙閑暑経 にのせ出閑暑を行 を接て僧栖さり を接て僧和がり が表し開部 八え近いと和がり · 午 当 頂し当 きたを法前山 し開部八え近いと和がり れりたが、会開 た催会月 こあだ人・し伺 と秋

に年

よぶ

るり

敬に

老合

が会

<mark>お願いいたしました。市内の皆様には地区御</mark> 世話人様を通じて、地区外市外の皆様には 郵便振替にてお納めいただきましたこと、心。 り感謝お礼申し上げます。また、お盆の供養 料などをお送りいただいた方もございました。 改めて紙面をもちましてお礼申し上げます。今 後ともご法愛賜りますようお願い申し上げま